

各種「検査報告書」改定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社では皆様の要望に応えるべく研鑽を重ねておりますが、このたび、下記の報告書におきまして、試薬変更に合わせてレイアウト、掲載事項や検査のフローチャートの見直しを実施いたしました。つきましては、これらの内容を反映した報告書に内容を改定させていただきたく、ご案内いたします。

取急ぎのご案内となりますが、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変更実施日

※ 平成23年10月1日(土)受託分より変更

対象報告書

- 分画、アイソザイム報告書
- HIV検査報告書

変更内容

※ 詳細は次頁以降を参照願います。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

いがく小田原衛検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

▼ 新「分画、アイソザイム報告書」のサンプル

分画、アイソザイム報告書

コードNo. 025-55	顧客名 カルテNo.	報告書サンプル (検査部用)	様	162-01
	患者名	ホケン タロウ	様	
	検査No	77701		
	採取日	22年11月15日		
	受付日	22年11月15日	整理No.	90430
	溶血	乳ビ	材料	血清

検査項目 **アミラーゼ アイソザイム**

No	分画名	測定値	基準値	単位
	S TOTAL	61.9	36.0 - 84.3	%
	P TOTAL	38.1	15.7 - 64.0	%
	P/S 比	0.62	0.19 - 1.79	
①	S2	6.9		
②	S1	55.0		
③	P1	38.1		

アミラーゼ・アイソザイムに関しては、各分画の報告の前に、総分画の報告を致します。(検査No2011-32も参照願います)

【臨床的意義などの記載】
 ①アイソザイムの依頼時には、項目毎に臨床的意義を記載します。(脂質分画を除く)
 ②リポ蛋白分画定性の依頼時には高脂血症の表現型と増加するリポ蛋白を掲載します。

参考【アミラーゼアイソザイムの臨床的意義】
 P型 (膵臓由来) 上昇
 急性膵炎、慢性膵炎 (再燃期) など
 S型 (唾液腺由来) 上昇
 耳下腺炎、術後、糖尿病、肺炎、肝疾患
 腫瘍産生アミラーゼなど
 マクロアミラーゼ (アミラーゼ結合性免疫グロブリン)
 原疾患不明
 遺伝型アミラーゼ (slowP, middleP)
 疾患との関連は特になし
 *P1, S1の上昇に伴い、P2~P4, S2~S4が出現することがある。

コト

最終委託先 保健科学研究所 第3ラボラトリー
保健科学研究所 佐竹秀逸

報告日 23年 8月26日
点数計 48

※ 新「分画、アイソザイム報告書」のサイズは、B5サイズへと変更になります。

報告対象項目

項目コード	検査項目	検査案内書掲載ページ
(1596)	コレステロール分画	3
1065	リポ蛋白分画定性	4
1073	リポ蛋白分画精密	5
1067	LDアイソザイム	11
1068	ALPアイソザイム	

項目コード	検査項目	検査案内書掲載ページ
1072	アミラーゼアイソザイム(血清)	11
1276	アミラーゼアイソザイム(尿)	
1069	CKアイソザイム	12
1071	γ-GTアイソザイム	

尚、報告書にて使用する検査項目名称について、一部を以下の通り変更します。

- ・1073:リポ蛋白分画精密 LP-F(DISK)を「リポ蛋白分画精密」に変更します。
- ・1069:CKアイソザイム BとMのサブユニットのみで表現し、(CK1)、(CK2)、(CK3)は削除します。

▼ 新「HIV検査報告書」のサンプル

HIV検査報告書

コード No. 様

性別 様

患者名 様

検査 No. 様

採血日 年 月 日

受付日 年 月 日 整理 No.

血液 乳 材料

スクリーニング検査

検査項目	結果	判定

確認検査

検査項目	結果	判定

判定の解釈については右頁の説明を必ずお読み下さい。

報告日 年 月 日 点数計

保健科学 ループ

HIV検査フローチャート

スクリーニング検査
HIV-抗原・抗体(CLIA法)

(+) (−) (*1)

確認試験
HIV-1抗体(WB法)・HIV-1RNA定量(リアルタイムPCR法) (*2)

HIV-1抗体(WB法)	HIV-1RNA定量(リアルタイムPCR法)測定結果	増幅反応シグナル	判定
(+) 判定保留	定量値	(+)	陽性
	定量下限値未満	(−)	陰性(*3)
(−)	定量値	(+)	陽性(*3)
	定量下限値未満	(−)	陰性(*4)

確認追加項目
HIV-2抗体(WB法)

最新におけるHIV-1/2感染症の診断ガイドライン 2008 引用
(日本エイズ学会・日本臨床検査医学会 標準検査法)

*1 感染が強く疑われる場合、または、急性感染を疑う症状がある場合は、数週間後に採血し、再検査をすることをお勧めします。

*2 HIV-1抗体(WB法)では感染初期において(−)となることがある為、HIV-1RNA定量(リアルタイムPCR法)との同時依頼をお勧めします。

*3 感染初期の可能性があるため、数週間後にHIV-1RNA定量の再検査を実施するか、一定期間を置いてHIV-1抗体(WB法)を実施することをお勧めします。

*4 感染が強く疑われる場合、または急性感染を疑う症状がある場合は、数週間後に採血し、HIV-2抗体(WB法)の確認試験も併せ、再検査を実施することをお勧めします。

《留意事項》

- ① スクリーニング検査は、非特異的反応によって偽陽性を呈することがあります。スクリーニング検査が(+)の場合は、必ず確認試験を実施して下さい。
- ② スクリーニング検査が(+)でHIV-1抗体(WB法)が(−)または判定保留の場合、感染初期あるいはHIV-2感染の可能性もあります。
- ③ HIV-2抗体(WB法)ではHIV-1抗体(+)の場合、交差反応により偽陽性を呈することがあります。
- ④ HIV-1RNA定量は、血中ウイルス量が微量の場合、増幅反応シグナルが(−)になる場合があります。

HIV検査結果証明書

コード No. 様

患者名 様

検査項目	結果	判定

受付日 年 月 日 報告日 年 月 日

上記の通り証明致します。

保健科学 ループ

※ 新「HIV検査報告書」のサイズ等は、現状の報告書と同一です。

◆ 主な変更点
新報告書の検査フローでは、ガイドラインの推奨法に従い、確認試験ではWB法(ウエスタンブロット法)とリアルタイムPCRを同時に実施することをお勧めします。

報告対象項目

項目コード	検査項目	検査案内書掲載ページ
4057	HIV抗原・抗体	63
4363	HIV-1抗体ウエスタンブロット法	
4537	HIV-2抗体ウエスタンブロット法	63
4737	HIV-1RNA定量(リアルタイムPCR法)	

▼ 参考文献
日本エイズ学会 : 日本エイズ学会誌, 11(1) : 70~72, 2009.